



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1481
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,341	3.3	2,070	△15.8	2,061	△14.6	1,110	△18.0
2019年3月期第3四半期	14,848	1.2	2,457	3.0	2,414	3.3	1,355	6.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,327百万円(△14.3%) 2019年3月期第3四半期 1,548百万円(△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	96.78	—
2019年3月期第3四半期	118.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,138	20,869	65.0
2019年3月期	28,745	20,430	63.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,944百万円 2019年3月期 18,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	12.00	—		
2020年3月期(予想)				20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.8	3,000	△4.4	2,900	△4.9	1,700	△3.0	148.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	11,500,000株	2019年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	23,106株	2019年3月期	23,106株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	11,476,894株	2019年3月期3Q	11,476,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、通商問題や海外経済の不確実性等のリスクが影響し、輸出や生産の弱さが継続したことにより、景気に足踏み感が見られましたが、設備投資や雇用情勢には改善が見られました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車市場や情報関連財市場では成長の減速並びにサプライチェーンにおける在庫調整が継続し、特に電子材料の事業が大きく影響を受けました。

光学レンズ材料やビタミンE・酸化防止剤等クレゾール誘導品関連市場では堅調な需要の継続が見られました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は15,341百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益は2,070百万円(同15.8%減)、経常利益は2,061百万円(同14.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,110百万円(同18.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)や医療、航空機分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、国内LCP向け需要の回復や、海外向け需要の増加があったものの、前四半期までの販売減の影響により、売上高は前年同四半期を下回りました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、ビタミンE原料・酸化防止剤需要共に引き続き堅調で、市況も継続して上昇傾向にあり、売上高は前年より増加しました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は6,853百万円(前年同四半期比0.2%増)、総売上高に占める割合は44.7%となり、セグメント利益は538百万円(同28.2%減)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。なお、当社製品群及び川下製品の大半は、対韓貿易管理強化の対象品目には該当いたしません。

当第3四半期連結累計期間においては、半導体・フラットパネルディスプレイ関連川下製品の在庫調整がさらに進んだ結果、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材、積層板用途向け)の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、光学レンズ・成形材の主要分野で需要が堅調に推移したため、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、4,126百万円(前年同四半期比25.0%増)、総売上高に占める割合は26.9%となり、セグメント利益は709百万円(同8.7%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当第3四半期連結累計期間においては、自動車市場全般の落ち込み、サプライチェーンにおける在庫調整に加え、為替変動の影響を受け、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受託品の売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、4,043百万円(前年同四半期比7.5%減)、総売上高に占める割合は26.4%となり、セグメント利益は1,359百万円(同9.6%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は318百万円(前年同四半期比5.3%減)、総売上高に占める割合は2.1%となり、セグメント利益は28百万円(同0.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は29,138百万円となり、前年度末に比べ392百万円増加しました。これは流動資産が、現金及び預金の増加(1,110百万円)、売掛金の減少(575百万円)等により、前年度末に比べ724百万円増加し、19,114百万円となったこと、また固定資産が、機械装置及び運搬具の減少(501百万円)等により、前年度末に比べ332百万円減少し、10,023百万円となったことによります。

負債は8,268百万円となり、前年度末に比べ47百万円減少しました。これは流動負債が、買掛金の増加(280百万円)、設備関係未払金の減少(459百万円)等により、前年度末に比べ78百万円減少し、5,354百万円となったこと、また固定負債が前年度末に比べ31百万円増加し、2,913百万円となったことによります。

純資産は、20,869百万円となり、前年度末に比べ439百万円増加しました。これは利益剰余金の増加(766百万円)、非支配株主持分の減少(249百万円)等によります。

この結果、自己資本比率は65.0%と前年度末に比べ1.5ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,138	8,248
売掛金	6,092	5,517
商品及び製品	3,363	3,742
仕掛品	311	262
原材料及び貯蔵品	1,234	1,227
その他	250	116
流動資産合計	18,389	19,114
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,470	5,969
その他（純額）	2,911	3,232
有形固定資産合計	9,381	9,202
無形固定資産	50	39
投資その他の資産	924	782
固定資産合計	10,356	10,023
資産合計	28,745	29,138
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,066	2,346
短期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	371	267
役員賞与引当金	32	27
設備関係未払金	898	438
その他	1,063	1,273
流動負債合計	5,433	5,354
固定負債		
退職給付に係る負債	2,074	2,127
その他	808	786
固定負債合計	2,882	2,913
負債合計	8,315	8,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	15,748	16,514
自己株式	△14	△14
株主資本合計	18,247	19,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	—
為替換算調整勘定	10	△39
退職給付に係る調整累計額	△46	△29
その他の包括利益累計額合計	8	△68
非支配株主持分	2,174	1,924
純資産合計	20,430	20,869
負債純資産合計	28,745	29,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,848	15,341
売上原価	10,841	11,594
売上総利益	4,007	3,747
販売費及び一般管理費	1,549	1,677
営業利益	2,457	2,070
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	3
投資有価証券売却益	—	36
受取保険金	—	32
その他	3	4
営業外収益合計	17	76
営業外費用		
支払利息	29	28
撤去費用	10	39
その他	20	17
営業外費用合計	60	84
経常利益	2,414	2,061
税金等調整前四半期純利益	2,414	2,061
法人税等	712	613
四半期純利益	1,702	1,448
非支配株主に帰属する四半期純利益	347	337
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,355	1,110

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,702	1,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△45
為替換算調整勘定	△123	△92
退職給付に係る調整額	△15	16
その他の包括利益合計	△154	△120
四半期包括利益	1,548	1,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,258	1,033
非支配株主に係る四半期包括利益	289	294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,842	3,301	4,369	14,512	335	14,848	—	14,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,842	3,301	4,369	14,512	335	14,848	—	14,848
セグメント利益	750	653	1,503	2,906	28	2,935	△477	2,457

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△477百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△477百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,853	4,126	4,043	15,023	318	15,341	—	15,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,853	4,126	4,043	15,023	318	15,341	—	15,341
セグメント利益	538	709	1,359	2,607	28	2,636	△566	2,070

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△566百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△566百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。